

平成30年度(2018年度)当初予算について

1. 当初予算の概要について

現時点(平成29年12月22日現在)における、平成30年度当初予算の第1次査定状況について、下記のとおりお示しするものです。

(1) 歳入について

(単位:億円)

	H30	H29	対前年度		主な増減要因
	保留額	当初 予算額	差	比	
市税	655.1	642.8	+12.3	1.9%	
国庫支出金	232.7	235.2	▲2.4	▲1.0%	—
ソフト事業充当分	216.6	226.7	▲10.1	▲4.5%	臨時福祉給付金事業費補助金 ▲9.8
普建事業充当分	16.1	8.5	+7.7	90.6%	学校施設環境改善交付金 +10.5、 地域居住機能再生推進事業補助金 ▲1.4
繰入金	50.1	95.9	▲45.9	▲47.8%	—
ソフト事業充当分	3.2	58.0	▲54.8	▲94.6%	財政調整基金繰入金 ▲55.0
普建事業充当分	46.9	38.0	+8.9	23.6%	都市計画施設整備基金繰入金 +8.5、 公共施設等整備基金繰入金 +2.7
歳入総額	【ア】1,238.0	1,272.6	▲34.6	▲2.7%	

(2) 歳出(性質別)について

(単位:億円)

	H30	H29	対前年度		主な増減要因
	査定額 +保留額	当初 予算額	差	比	
物件費	221.3	201.9	+19.4	9.6%	新佐竹台住宅集約建替事業(除却) +7.9、 公有財産管理事業(除却) +2.3、育成室運営委託事業 +1.9
補助費等	182.9	175.8	+7.1	4.0%	児童福祉費 +6.1、障害福祉自立支援事業費 +5.9、 地方独立行政法人市立吹田市民病院整備補助事業 ▲8.0
普通建設事業費	154.3	155.2	▲0.8	▲0.5%	文化会館改修事業 ▲39.4、 小・中学校改修費 +51.3
歳出総額	【イ】1,300.8	1,272.6	+28.2	2.2%	

(3) 歳出(目的別)について

(単位:億円)

	H30	H29	対前年度		主な増減要因
	査定額 +保留額	当初 予算額	差	比	
総務費	63.2	55.8	+7.4	13.2%	公有財産管理事業(除却) +2.3、 スポーツ推進基金積立事業 +2.2
民生費	483.7	474.8	+8.9	1.9%	施設型・地域型保育給付事業 +8.0、障害福祉自立支援事業費 +6.1、臨時福祉給付金給付事業 ▲10.5
歳出総額	【イ】1,300.8	1,272.6	+28.2	2.2%	

(4) 平成30年度 収支見通しについて

(単位:億円)

収支差引額 【ウ】=【ア】-【イ】	今後補正必要額 【エ】	差引額 【オ】=【ウ】-【エ】	(参考)財政調整基金 H29末残高見込み	備考
▲62.8	5.0	▲67.8	51.3	財政調整基金を全額繰り入れても、16.5億円の収支不足。

2. 今後のスケジュールについて

平成30年01月05日(金)	政策会議・部長会(経常経費内示)
平成30年01月09日(火)	予算/実計 市長・副市長査定
平成30年01月16日(火)	
平成30年01月19日(金)	部長会(最終収支見込の報告)

※ 数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳とが一致しない場合があります。